

学習日 月 日

年 組 番 氏名

① 次の間に答えなさい。(p.148)  
 (1) 次のことがらのうち、アとイの起こりやすさが同じであるといえるものをすべて選びなさい。

- ① さいころを投げるとき
  - ア 1の目が出る
  - イ 3の目が出る
- ② 10円硬貨を投げるとき
  - ア 表が出る
  - イ 裏が出る
- ③ 王冠を投げるとき
  - ア 表が出る
  - イ 裏が出る

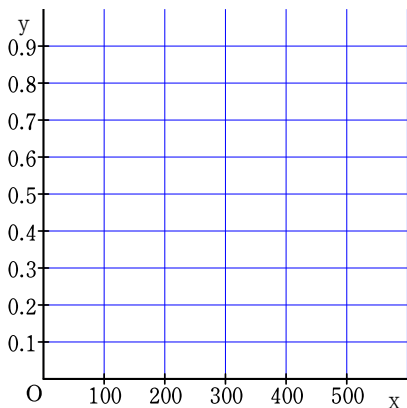


答 \_\_\_\_\_

(2) 太郎君は、王冠を投げて表が出ることと裏が出ることの起こりやすさを比べる実験をしました。その結果が下の表です。次の間に答えなさい。

投げた回数	表が出た回数	表が出た割合
100	42	0.42
200	81	
300	131	
400	160	
500	202	

① 表の「表が出た割合」を小数第2位まで求め、表をうめなさい。また、それをグラフに表しなさい。



② 王冠を投げる時、表が出る割合は、およそどれくらいか。小数第1位まで求めなさい。

答 \_\_\_\_\_

② 次の空らんをうめなさい。

結果が偶然に左右される実験や観察を行うとき、あることがらが起こると期待される程度を数で表したものを、そのことがらの起こる<sup>①</sup> \_\_\_\_\_ という。例えば、さいころを投げる時、1の目が出る<sup>①</sup>は $\frac{1}{6}$ である。このように、<sup>①</sup>が $p$ であるということは、同じ実験や観察を多数回くり返すとき、そのことがらの起こる<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ が $p$ に近づくという意味をもっている。

③ 1, 2, 3, 4の数字を1つずつ記入した4枚のカードがある。この4枚のカードをよくきって1枚ひく実験を多数回くり返した結果、下の表のようになった。

ひいた回数	500	1000	1500
3のカード	135	260	380

3のカードをひく相対度数は、どんな値に近づくと考えられますか。

答 \_\_\_\_\_

④ 次の確率を求めなさい。

(1) さいころを投げて3の目が出る

答 \_\_\_\_\_

(2) 10円硬貨を投げて表が出る

答 \_\_\_\_\_

(3) 盛岡市の過去40年間の記録では、12月24日に雪が降った回数は12回である。盛岡市で次の12月24日に雪が降る

答 \_\_\_\_\_

1 次の間に答えなさい。(p.148)

(1) 次のことがらのうち、アとイの起こりやすさが同じであるといえるものをすべて選びなさい。

- ① さいころを投げるとき  
 ア 1の目が出る  
 イ 3の目が出る

- ② 10円硬貨を投げるとき  
 ア 表が出る  
 イ 裏が出る

- ③ 王冠を投げるとき  
 ア 表が出る  
 イ 裏が出る

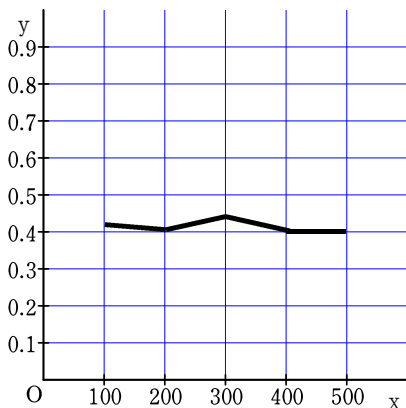


答 ①, ②

(2) 太郎君は、王冠を投げて表が出ることと裏が出ることの起こりやすさを比べる実験をしました。その結果が下の表です。次の間に答えなさい。

投げた回数	表が出た回数	表が出た割合
100	42	0.42
200	81	0.41
300	131	0.44
400	160	0.40
500	202	0.40

① 表の「表が出た割合」を小数第2位まで求め、表をうめなさい。また、それをグラフに表しなさい。



② 王冠を投げるとき、表が出る割合は、およそどれくらいか。小数第1位まで求めなさい。

答 およそ0.4

2 次の空らんをうめなさい。

結果が偶然に左右される実験や観察を行うとき、あることがらが起こると期待される程度を数で表したものを、そのことがらの起こる<sup>①</sup>確率という。例えば、さいころを投げるとき、1の目が出る<sup>①</sup>は $\frac{1}{6}$ である。このように、<sup>①</sup>が $p$ であるということは、同じ実験や観察を多数回くり返すとき、そのことがらの起こる<sup>②</sup>相対度数が $p$ に近づくという意味をもっている。

3 1, 2, 3, 4の数字を1つずつ記入した4枚のカードがある。この4枚のカードをよくきって1枚ひく実験を多数回くり返した結果、下の表のようになった。

ひいた回数	500	1000	1500
3のカード	135	260	380

3のカードをひく相対度数は、どんな値に近づくと考えられますか。

$$135 \div 500 = 0.27$$

$$260 \div 1000 = 0.26$$

$$380 \div 1500 = 0.25333 \dots$$

答 0.25

4 次の確率を求めなさい。

(1) さいころを投げて3の目が出る

答  $\frac{1}{6}$

(2) 10円硬貨を投げて表が出る

答  $\frac{1}{2}$

(3) 盛岡市の過去40年間の記録では、12月24日に雪が降った回数は12回である。盛岡市で次の12月24日に雪が降る

$$12 \div 40 = \frac{3}{10}$$

答  $\frac{3}{10}$

(0.3も可)